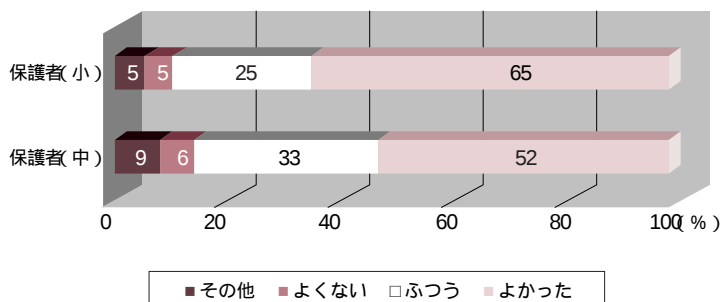


2学期制に合わせて、各学校では、子どもの学校での学習や生活ぶりを、よりきめ細かく保護者に伝える方法として、個別懇談会を夏休み中に設定するなど、工夫・検討を重ね、実施してきました。

その点について、保護者に「本年度、各学校で実施してきた個別懇談会について、どのように思わ

懇談会の開催



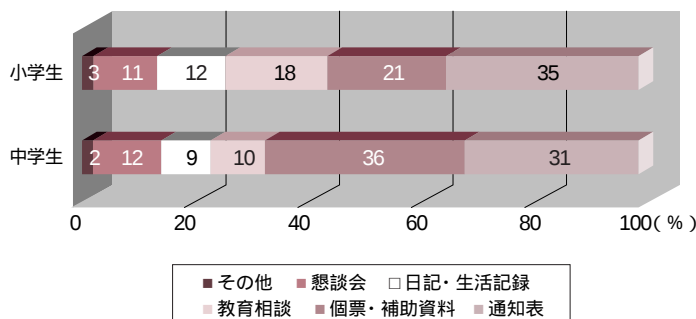
れましたか」と問いました。

「よかった」という回答が、小学校では65%、中学校では52%と半数を超えており、かなり好意的に受け入れられていると考えられます。

子供へは、「自分の学習や生活を振り返って、今後に生かそうとするときに何が役に立ったと思いますか」と問いました。

小学生では「通知表」(35%)、「個票・補助資料」(21%)、「教育相談」(18%)、中学生では「個

振り返りの資料



票・補助資料」(36%)、「通知表」(31%)、「懇談会」(12%)が上位3項目となっています。

小中学生の両方とも、「通知表」

や、成績や生活態度などの評価資料である「個票・補助資料」が高い数値を示しています。また、小学生では、教師とじっくり話し合うことのできる「教育相談」を参考にしていることがわかりました。

こうした点をふまえて、「個票・補助資料のよりよいあり方」、「教育相談の充実」を今後も検討していく必要があると考えられます。

本年度実施した「個別懇談会」は、多くの保護者に支持を得たと考えられます。今後は「通知表」、「個票・補助資料」などについて、本年度を振り返りながら、よりよいものをめざして、検討していく必要があると考えられます。



2学期制が導入された初年度、2学期制の充実をめざして、今後どのような点が課題として挙げられるかをとらえて分析していくことは、きわめて大切なこととして

考えています。

この点について、教員と保護者の両者に、設問「今後2学期制をより充実させていくために、どんなことが課題として挙げられると思われますか」と問いました。

2学期制充実の課題

